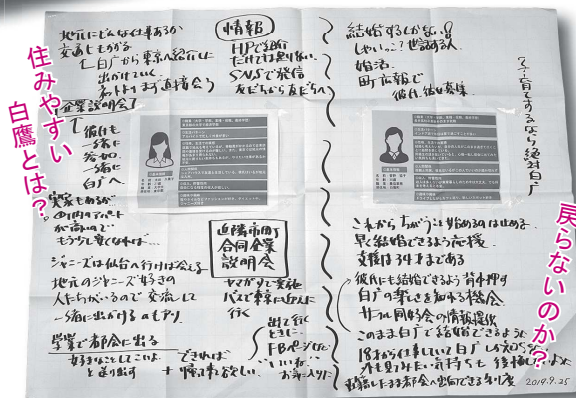


第6次白鷹町総合計画

まちづくり町民会議 ふりかえりルポ vol.5



第7回 日時：9月25日（水）午後7時～9時
場所：中央公民館 2階 大会議室

昨年度より、町では今後のまちづくりの基本的な方向性を示す新たな総合計画の策定に向け、広く町民の皆様の意見を伺うための「まちづくり町民会議」を開催しています。最終回である第7回会議では、引き続き、「まち」「ひと」「しごと」の3つの班に分かれて個別の施策について意見を出し合いました。

第7回会議では、議論の中で「災害対策意識の向上や情報発信の手段としても、町内緊急メール登録者を増やしたい」「小5、中2時の検診を実施していることを周知したほうが良い」「ライフプランセミナーにより、子育て期のいつどのような段階でお金がかかるのかを知っておくことも重要」など、様々な分野の具体的な意見が出されました。

また、若い女性が白鷹町になぜ戻らないのか、出ていくのかを考えるためのワークショップを行いました。「家賃が高い傾向」「地元にどんな仕事があるのか情報が少ない」「地元での就活は交通費がかかる」などの意見が出され、その要因に対応する施策の必要性を議論しました。

ふりかえりインタビュー（参加者の声）

はじめは話の内容が難しいと感じていましたが、最後になってようやく全体像が見えてきたところです。子を持つ親としては、やはり子どもたちが住みやすい町になってほしいと思います。住んで楽しい町と感じてもらうために子どもを連れて様々なイベントに参加しています。そんな子育て世代の思いと行政の施策が一致したまちづくりができればと思います。

皆さんからどんどん出てくるアイデアにいつも刺激を受けています。架空の人物を設定して議論するワークショップでは、具体的な「誰か」のためにどんなことができるのかを考えることで、より深い話し合いにつながったと思います。相手の顔を思い浮かべながら仕事をすることや共通認識を持って取り組むことの大切さを改めて認識することができました。

委員（町民）
富樫憲人さん

会議には、各分野で活躍されているさまざまな年代の町民の皆さん15人に加え、町職員16人が参加しています。

町職員
小谷部哲さん

2020 東京オリンピック ソフトボール競技 アジア・オセアニア最終予選 上海応援ツアー報告

(白鷹町ホストタウン推進本部)

中国ソフトボールチーム 東京2020大会の出場を逃す

白鷹町は、第32回オリンピック競技大会(2020東京)の開催を踏まえ、中国を相手国にソフトボール競技を対象種目とするホストタウンとして交流事業に取り組んできました。

平成31年3月に町長が中国北京市を訪問し、中国ソフトボール協会の楊会長と面談するとともに、白鷹町で事前キャンプを実施することなどを盛り込んだ覚書を締結しました。

今年度に入ってから、7月末にティーボール野球少年団が白鷹町に来町、町内の野球スポーツ少年団と交流を行いました。また、8月30日から9月6日まで、中国青年(U21)女子ソフトボールチームが来町し、白鷹町ソフトボール場で合宿を行なうとともに県内外の社会人、学生等のチームと親善試合を行いました。

そして、9月24日から9月29日まで中国上海市で、2020東京オリンピックの出場権獲得のためのアジア・オセアニア地区予選会が開催されました。2020東京オリンピックには6チームし

か出場できず、アジア・オセアニア地区からは1チームしか出場できないという大変厳しい争いとなりました。

その出場権の獲得を賭けて最終予選会に出場する中国ソフトボールチームを応援するために、町民からなる総勢14名による応援団(団長:町長)を結成し、町内の小、中学生に作成していただいた中国応援横断幕を持参し、試合会場に掲げ応援を行ってきました。

中国チームは予選ラウンドを3戦全勝で勝ち進み、スーパーラウンドに進みましたが、台湾、オーストラリアに連敗し、残念ながらソフトボールでのオリンピック出場を逃す結果となりました。

町としては、中国ソフトボールチームのオリンピック出場は逃したものの、これまで多くの皆様にご協力いただいたことを踏まえ、交流を通じて培った人脈や経験を活かし、今後の交流の方向性を模索していきたいと考えています。



8月に来庁したU21女子
チームと再会



試合後、横断幕を中国
ソフトボール協会に贈呈